



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 東
コード番号 5724 URL <https://www.asaka.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 浩太
問合せ先責任者 (役職名) 財務部財務部長 (氏名) 大浪 康洋 TEL 024-944-4744
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	5,955	△5.9	256	△27.9	239	△31.1	342	24.2
2023年9月期第3四半期	6,327	△2.8	356	△48.1	347	△47.2	275	△44.2

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 413百万円 (39.7%) 2023年9月期第3四半期 295百万円 (△39.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	68.32	—
2023年9月期第3四半期	54.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第3四半期	8,612	4,634	53.3	916.02
2023年9月期	8,348	4,255	50.4	841.01

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 4,593百万円 2023年9月期 4,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2024年9月期	—	0.00	—		
2024年9月期（予想）				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,242	△0.5	202	△48.8	195	△49.2	326	6.3	65.24

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 有

新規 1社 (社名) 一、除外 1社 (社名) 株式会社ASAKA SOLAR

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期3Q	5,144,600株	2023年9月期	5,144,600株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	129,498株	2023年9月期	137,392株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期3Q	5,011,040株	2023年9月期3Q	5,018,747株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人の消費活動の持ち直しには足踏みがみられたものの、企業活動には持ち直しの動きが見られ、物価上昇の影響を受けつつも景気は緩やかに回復しました。一方で、世界的には地政学リスクの高まりやインフレ、エネルギー・資源価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては、民生電子機器や情報通信機器の需要が低下し、主要取引先において半導体製品等の電子部品の生産量が減少し、貴金属の取り扱い数量は前年同四半期を下回りました。

主要製品のうち、金の価格は米国金利の引き下げが行われるとの見方や、紛争による安全資産としての需要の高まりから、ドル建て価格が上昇し高い水準で推移しました。また円安ドル高傾向が続いたことも影響し、円建て価格は前年同四半期を上回りました。銅の価格は、世界最大の銅消費国である中国の景気に減速がみられるものの、投機筋による購入などの要因でドル建て価格は底堅く推移し、円安ドル高も影響したことで、円建て価格は前年同四半期を上回りました。

このような事業環境の中、当社グループは資源循環型社会の実現に向け、経営基盤の強化及び新規事業の確立に努めました。社員一人ひとりが積極的にチャレンジする組織風土を目指して前期に導入した新人事制度に基づき、評価体系のブラッシュアップに取り組んだほか、人材育成制度の構築に努めました。

既存事業では、DX化に伴い拡大が期待される電子部品業界において、取引先とのリレーション強化や独自技術を武器とした新規開拓に注力しました。収益力の向上に向け、営業力の底上げや製造工程の効率化によるコスト低減にも継続的に取り組んでおります。

新規事業では、リチウムイオン電池（以下、LiB:Lithium-ion Battery）再生事業の事業化に向け、研究開発及び事業スキーム構築に注力しました。研究開発においては、CO₂排出量の削減とレアメタルの高回収率を両立するプロセスの構築に努めつつ、電池メーカーとの共同開発にも取り組んでおります。事業スキームの構築につきましては、現在も大きな枠組みの形成に向けて、複数企業とアライアンス締結に向けた交渉を継続しております。

当第3四半期連結累計期間の連結業績の売上高は5,955百万円（対前年同四半期5.9%減）となりました。貴金属の主要製品価格は前期を上回ったものの、取引先の減産等に伴い、取り扱い数量が減少したことで売上高が減少しました。加えて、中長期的な成長を見据えた組織体制の強化やLiB再生事業の研究開発への積極的な投資により、営業利益は256百万円（同27.9%減）、経常利益は239百万円（同31.1%減）の減益となりました。一方で、ふくしま産業復興企業立地補助金（13次募集）等により、特別利益244百万円を計上したことで、親会社株主に帰属する四半期純利益は342百万円（同24.2%増）の増益となりました。なお、当第3四半期会計期間（3ヵ月間）は前年同期と比較した場合、貴金属の取り扱い数量及び売上高、営業利益、経常利益は前年同期を上回っております。

各セグメントの経営成績は、次のとおりです。なお、各セグメントの金額については、セグメント間取引を含んでおります。また、間接部門の経費負担には、LiB再生事業における研究開発費用を含んでおります。

なお、第2四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載していましたが「運輸事業」について、重要性が乏しくなったため、当第3四半期連結会計期間より「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

(貴金属事業)

主要製品の価格が前期を上回ったものの、貴金属の取り扱い数量が減少したことにより、売上高は4,959百万円（対前年同四半期8.4%減）となりました。加えて、間接部門の経費負担の増加によりセグメント利益は189百万円（同38.4%減）の減収減益となりました。

(環境事業)

主要製品の価格が前期を上回り、第3四半期間中において一時的な要因で販売数量が増加したことにより、売上高は882百万円（同11.7%増）、セグメント利益は58百万円（同119.5%増）の増収増益となりました。

(システム事業)

主力製品である品質管理システムの販売が減少したことにより、売上高は101百万円（同5.9%減）の減収となりました。また、間接部門の経費負担が増加したことにより、セグメント損失は34百万円（前年同四半期は6百万円の損失）となりました。

(その他)

その他に含まれる運輸事業等は、連結グループ内の取引額の増加により、売上高は254百万円（対前年同四半期7.1%増）、セグメント利益は25百万円（同31.8%増）の増収増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりです。

(資産の部)

前連結会計年度末に比べて263百万円増加し、8,612百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金が54百万円、棚卸資産が273百万円、建物及び構築物（純額）が61百万円、機械装置及び運搬具（純額）が26百万円、建設仮勘定が121百万円、投資有価証券が100百万円増加し、受取手形及び売掛金が107百万円、その他（流動資産）が290百万円減少したことです。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べて114百万円減少し、3,978百万円となりました。

主な要因は、借入金が461百万円、賞与引当金が53百万円減少し、未払法人税等が86百万円、その他（流動負債）が81百万円、借入金地金が205百万円、繰延税金負債が30百万円増加したことです。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べて378百万円増加し、4,634百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が303百万円、その他有価証券評価差額金が70百万円増加したことです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の通期連結業績予想につきまして、現時点においては2023年11月14日公表の当初予想を変更しておりません。今後の進捗状況を踏まえ、修正が必要な場合は適時適切に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,766,581	1,820,858
受取手形及び売掛金	423,614	315,867
電子記録債権	34,185	42,337
商品及び製品	736,564	966,667
仕掛品	401,666	454,785
原材料及び貯蔵品	121,478	112,087
その他	330,573	39,900
流動資産合計	3,814,664	3,752,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,659,890	2,794,089
減価償却累計額	△1,412,060	△1,484,433
建物及び構築物(純額)	1,247,829	1,309,656
機械装置及び運搬具	2,619,234	2,646,191
減価償却累計額	△2,150,034	△2,150,599
機械装置及び運搬具(純額)	469,199	495,591
土地	1,362,987	1,362,987
リース資産	35,028	38,118
減価償却累計額	△22,162	△25,117
リース資産(純額)	12,865	13,000
建設仮勘定	959,135	1,080,609
その他	238,033	244,574
減価償却累計額	△192,925	△199,938
その他(純額)	45,108	44,636
有形固定資産合計	4,097,126	4,306,482
無形固定資産	69,997	78,486
投資その他の資産		
投資有価証券	113,591	214,162
繰延税金資産	645	714
退職給付に係る資産	79,988	77,484
その他	181,801	192,588
貸倒引当金	△9,078	△9,702
投資その他の資産合計	366,949	475,246
固定資産合計	4,534,073	4,860,215
資産合計	8,348,738	8,612,719

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	215,472	211,088
短期借入金	963,191	402,280
1年内償還予定の社債	200,000	330,000
リース債務	4,183	4,862
未払法人税等	15,084	101,385
借入金地金	473,262	678,838
賞与引当金	158,781	104,821
その他	271,872	353,212
流動負債合計	2,301,846	2,186,488
固定負債		
社債	130,000	—
長期借入金	1,227,615	1,327,176
リース債務	9,910	9,379
繰延税金負債	72,428	102,603
長期未払金	299,223	300,197
資産除去債務	51,783	52,495
固定負債合計	1,790,962	1,791,852
負債合計	4,092,808	3,978,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	369,032	369,363
利益剰余金	3,423,956	3,727,021
自己株式	△150,792	△142,124
株主資本合計	4,146,492	4,458,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,920	134,463
繰延ヘッジ損益	99	461
退職給付に係る調整累計額	617	449
その他の包括利益累計額合計	64,637	135,375
新株予約権	40,660	40,446
非支配株主持分	4,139	—
純資産合計	4,255,929	4,634,378
負債純資産合計	8,348,738	8,612,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,327,659	5,955,794
売上原価	4,578,217	4,223,406
売上総利益	1,749,441	1,732,387
販売費及び一般管理費	1,393,403	1,475,524
営業利益	356,038	256,863
営業外収益		
受取利息	1,661	1,255
受取配当金	1,536	189
受取賃貸料	2,782	1,966
借入地金評価益	13,917	—
為替差益	—	1,872
その他	7,664	6,931
営業外収益合計	27,561	12,215
営業外費用		
支払利息	12,053	14,424
地金借入料	11,636	12,157
為替差損	477	—
その他	11,839	2,867
営業外費用合計	36,007	29,449
経常利益	347,592	239,629
特別利益		
補助金収入	—	243,800
固定資産売却益	3,999	—
新株予約権戻入益	1,498	214
特別利益合計	5,497	244,014
特別損失		
固定資産除却損	4,742	1,991
特別損失合計	4,742	1,991
税金等調整前四半期純利益	348,348	481,652
法人税等	72,880	139,321
四半期純利益	275,467	342,330
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△50	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	275,518	342,330

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	275,467	342,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,575	70,542
繰延ヘッジ損益	222	362
退職給付に係る調整額	499	△167
その他の包括利益合計	20,298	70,738
四半期包括利益	295,765	413,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,816	413,069
非支配株主に係る四半期包括利益	△50	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,414,662	789,533	107,641	6,311,837	15,821	6,327,659
外部顧客への売上高	5,414,662	789,533	107,641	6,311,837	15,821	6,327,659
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	104	—	104	221,973	222,077
計	5,414,662	789,637	107,641	6,311,941	237,794	6,549,736
セグメント利益又は損失(△)	307,885	26,859	△6,385	328,358	19,233	347,592

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,959,069	881,377	101,340	5,941,787	14,007	5,955,794
外部顧客への売上高	4,959,069	881,377	101,340	5,941,787	14,007	5,955,794
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	716	—	716	240,565	241,282
計	4,959,069	882,093	101,340	5,942,503	254,573	6,197,076
セグメント利益又は損失(△)	189,506	58,960	△34,196	214,270	25,358	239,629

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載していましたが「運輸事業」について、重要性が乏しくなったため、当第3四半期連結会計期間より「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年1月19日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式7,894株の処分を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が8,667千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が142,124千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	191,988千円	220,031千円

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当社の連結子会社であった株式会社ASAKA SOLARは、休眠状態が続いており、当社グループの事業戦略から外れ重要性が乏しくなったため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。